

CS (コミュニティースクール) 懇談会

～ PTA・学校運営協議会 ～

令和元年 7月17日(水) 16:00～17:20 本校会議室

PTA・学校運営協議会委員の約30名が参加し、『保護者が望むこと』をテーマに話し合いました。参加者から寄せられた声をまとめて紹介します。

子どもに対して

生活面

- ・中学生になり、部活動と学習の両立で計画性を持つようになった。
- ・学習したその日のうちにレポートやワークをしっかりと終わらせるように努力している。
- ・やる事が遅い。自分で考えて行動してほしい。
- ・男女差はあるものの、声かけをすれば学校からの配布物を出し、学校の話もするが自分のことは話さない。
- ・親も、授業や行事の参観をすることで子どもとよく話ができる。

友達・LINE

- ・正しさより『波風を立てたくない』『面倒くさい』という傾向が感じられる。
- ・協調性はあるが表面的である。スマホでは攻撃的であったりする。
- ・クラスでは無口だが、LINE・オンラインゲームの相手は友達、と言ってよく喋っている。
- ・保護者としては、LINE・オンラインゲームなど、顔が見えない付き合いの怖さが心配である。

学校に対して

- ・再登校が学区内でも遠方の生徒にとって厳しい。限られた時間内で帰宅・食事・再登校するのは危ないと感じた。再登校の時間を見直すか、待機場所の確保をお願いしたい。
- ・図書室以外にも待機場所を開放して欲しい。
- ・学校からの各種お便りをもっと発行して欲しい。少しでも多くの情報を得たい。
- ・時代とともに高校入試方法も大きく変化しているため、進路に関する情報、選択肢を教えてください。
- ・おぎすけ(荻窪中学校学校支援本部)はよくやっつけてくださっているの、子ども達は恵まれていると思う。

地域に対して

- ・なかなか関わりを持っていないが、ボランティア部には地域行事に参加している子もいる。
- ・町会によっては、中学生にも夜警や清掃活動など役割を担わせてくれている。
- ・防災訓練をしっかりと実施したい。(学校も地域も行政も参加できる訓練は、連携を確認しやすい)